

島田市立図書館基幹システム更新業務仕様書

1 本仕様書の位置づけ

令和7年1月31日にてリース期間満了となる現行の図書館基幹システム LiCS-Re2 Version2.1.8 (以下「現システム」という。)について、新しい図書館基幹システム (以下「新システム」という。)への切り替え・構築にあたり、必要とされる機器・ソフトウェア (以下「機器等」という。)の導入、機器設定 (設置工事・電源工事・LAN 敷設等含む)・ソフトウェアインストール及び環境設定、システム設計、カスタマイズ (必要な場合)、データ移行、動作確認テスト、操作研修、本番稼働の立会い等の水準及び仕様等を規定するものである。

2 基本要件

- (1) 契約期間は令和7年2月1日から令和12年1月31日までの5年間とする。新システムの本稼働は令和7年2月1日とするが、本稼働前に数日間の試行期間を設けること。
- (2) 契約期間において新システムを安全、確実に運用できるよう、機器等の保守を行い、運用について操作説明をはじめとした必要なサポートを行うこと。
- (3) 既設設備であるラック関連 (島田図書館サーバ室に設置)、金谷図書館 BDS ゲート等との連携をはじめ、現行の図書館カード、資料の IC タグ及びバーコードが新システムへの更新後も継続して使用できるようシステムを構築すること。

3 島田市立図書館の業務規模 (令和6年3月31日現在)

(1) 島田市立図書館全館の蔵書冊数	合計	470,401 冊
ア 島田図書館	計	188,725 冊
・ 図書、紙芝居、お話小道具		175,705 冊
・ 雑誌		3,978 冊
・ 視聴覚資料 (CD・DVD・ビデオ)		9,042 点
イ 島田図書館別館	計	87,908 冊
・ 図書		83,321 冊
・ 雑誌		4,575 冊
・ 視聴覚資料 (DVD)		12 点
ウ 金谷図書館	計	115,443 冊
・ 図書、紙芝居、お話小道具		110,222 冊
・ 雑誌		3,069 冊
・ 視聴覚資料 (CD・DVD)		2,152 点
エ 川根図書館	計	48,460 冊
・ 図書、紙芝居、お話小道具		46,888 冊
・ 雑誌		718 冊
・ 視聴覚資料 (CD・DVD)		854 点
オ 地域館	計	29,865 冊
・ 初倉地域総合センター		9,161 冊
・ 六合公民館		7,853 冊

・北部ふれあいセンター	4,622 冊
・初倉西部ふれあいセンター	4,375 冊
・大津農村環境改善センター	3,854 冊
(2) 5年後(令和12年1月31日)の見込み蔵書冊数	450,000 冊
(3) 現在利用者登録数(団体含む)	67,827 人
(4) 5年後見込み利用者登録数(68,003人+1,300人×5年)	74,500 人

(5) 年間貸出点数(令和5年度)	475,792 点
島田図書館(年間286日開館)	319,694 点
金谷図書館(年間285日開館)	106,174 点
川根図書館(年間287日開館)	22,721 点
地域館計(開館日は館により異なる)	27,203 点

※初倉西部ふれあいセンターは現システムを導入していないため、地域館計に含まない。

(6) 5年後見込み年間貸出点数	550,000 点
(7) 月最大貸点数及び利用人数:	
島田図書館(R5. 8)	30,767 点 / 9,091 人
金谷図書館(R5. 8)	11,160 点 / 3,259 人
川根図書館(R5. 8)	2,149 点 / 729 人
(8) 図書館職員数:	
島田図書館	職員数: 10 人 会計年度任用職員数: 20 人
金谷図書館	職員数: 5 人 会計年度任用職員数: 8 人
川根図書館	職員数: 2 人 会計年度任用職員数: 3 人
(9) 使用 MARC	TRC-T タイプ

4 導入方式

- (1) 新システムはオンプレミスで構成されたものとする。
- (2) オンプレミスのサーバの設置場所は、島田図書館3階サーバ室とする。
- (3) 端末接続にはLANを用いることとする。既存のLANケーブルについてはケーブルテストを実施して活用すること。テストの結果、提案システムの能力に対しLANが不十分と判断した場合は、配線及び配管等のLAN工事を行うこと。

【LANに関する注意事項】

ア 既設ケーブルのテストや配線・配管工事の費用も見積金額に含むものとする。

イ 敷設は、1000/100BASE-TX以上の対応とする。

ウ 敷設したLANのケーブル・ハブは本市の所有とする。

エ 敷設したLANについては配線図面を提出すること。

オ LANの配線外側のビニルは青色とする。

- (4) 島田図書館・島田図書館別館・金谷図書館・川根図書館・六合公民館・初倉地域総合センター・北部ふれあいセンター・大津農村環境改善センター間のネットワークは、NTTのVPN回線を用いて接続する。

5 システム形態

- (1) サーバについては、運用スケジュール機能、セキュリティ機能、供給電源喪失時の非常用バックアップ電源を有し、新システムが円滑に運用できるスペックを有していること。
- (2) クライアント OS は Windows11 Pro 64bit とし、DVD-ROM を添付すること。
- (3) サーバのディスク装置は RAID 構成により、データの安全性を確保すること。
- (4) システム及びデータのバックアップ機能(NAS)を有すること。

6 運用体制

- (1) 起動から電源切断は、図書館のスケジュールに合わせ自動運転されていること。また、突然のスケジュール変更（休館日の変更、図書館閉館時間の変更等）が必要となった場合でも、簡易に変更ができるように配慮がされていること。
夜間の自動運転スケジュールについては、運転時刻表を紙面及びデータで提出すること。
月末統計表の自動作成等、通常処理以外の処理についても同様に報告すること。
- (2) 保守メンテナンス、システムサポート対応を行うこと。
なお、この業務内容は新システムに接続された全ての機器の保守メンテナンス及び図書館業務で使用するすべてのソフト類(ウイルス対策ソフト等初期導入したソフト類の使用権の年次更新を含む。)や、システムの連携動作などのシステムサポートとする。
- (3) 機器等保守及びSEサポート保守は、週7日連続 8:30~21:00 を対象とすること。特に土・日・祝日に担当SEと連絡が可能な体制を整えること。
週7日連続 8:30~21:00 が難しい場合は、サポート可能な範囲を提示すること。
- (4) システム構築の主担当には、図書館業務及び導入するシステムの双方を熟知するSEがあたり、原則として新システム稼働後も引き続き管理運用の担当者となること。稼働後の担当SEが変更になる場合は、前任者と同程度の知識と経験のあるSEを後任とし十分な引継を行うこと。
- (5) 停電等の非常時に必要な作業について、操作の説明書を作成すること。説明書は、操作画面等を取り入れて、分かり易く作成し、必要な部署に説明する費用も含めること。また、その間の図書館業務に必要な機器を提案し、操作の説明書の提示及び操作説明を行うこと。これらの操作説明書を紙面及びデータで提出すること。
- (6) 機器等に不具合が生じた場合には、特別な場合を除き、本市から連絡した当日又はその翌日に来館し、現状の把握を行い、処置若しくは一時的処置を行うこと。その場で不具合の処置が出来なかった場合には、本市へ状況の報告を行い、不具合を解消することの出来る予定日等を把握できるよう計画を立て、不具合が長期にわたる場合には、途中経過報告の連絡を行い、早期に問題が解決されるように努めること。
- (7) 障害が発生した場合、その回復後に各業務用端末での処理データをサーバへ迅速に反映できること。
- (8) サーバの予防保守として、定期点検及び耐用年数が近づいた部品の交換を無償で行うこと。
- (9) 新システムのバージョンアップ（機能強化等）の提供について、追加費用を発生することなく行うこと。
- (10) 導入したソフトウェアの脆弱性が発覚した場合は、即時対応すること。
- (11) 通信障害が発生した場合には、障害の原因の切り分けを行い、速やかに復旧作業にあたること。
- (12) 蔵書点検時は、ハンディーターミナルの設定、操作研修、突合せ処理の立会いなどで担当SEが現地訪問しサポートを行うこと。

7 スケジュール及びシステム移行作業について

- (1) 令和7年2月1日（土）に本稼働とするため、すべての作業を令和7年1月31日（金）まで

に完了させること。

- (2) データの移行にあたっては、書誌情報、所蔵情報、利用者情報、予約情報、貸出情報、統計情報、Web 利用情報をはじめとした現行データのすべての項目を移行対象とし、データ抽出・変換・新システムへの登録等を実施すること。本市には、随時状況を報告し問題が発生しないように配慮すること。

データ移行のうち、現システムからの抽出に必要な費用は、「データ抽出費用」として、必要額を見積書の見積金額に含めること。

なお、現システムの保守業務委託先は㈱静岡情報処理センターであり、データ抽出は新システムの保守委託業務受注者が同社に依頼すること。

- (3) 図書館データの帰属については、すべて本市のものとする。
- (4) 新システム稼働後、移行データに欠損等の不具合が判明した場合、新システムの保守委託業務者の責任においてデータの補完、復旧を実施すること。
- (5) 新システムの使用法の説明について、操作画面等を取り入れたシステム操作の説明書を作成し、島田図書館・金谷図書館・川根図書館の職員をはじめ、六合公民館・初倉地域総合センター、北部ふれあいセンター、大津農村環境改善センターのシステム操作を行う者全員に資料配布と操作の説明を行うこと。また、新システムの本稼働前に職員が自由に操作できる環境を用意すること。
- (6) その他データ移行に関することについては、本市と緊密に協議のうえ実施すること。

8 ハードウェア機能

ハードウェアの数量及び設置場所は、別紙「図書館基幹システム機器等構成表」及び各図書館・図書室の機器等配置図を参照とすること。ただし、設置場所については変更が生じる場合がある。

OS を問わず、サーバ・クライアントともウイルス対策、セキュリティ対策等を十分に講じること。OS のライセンス・DB 接続ライセンス・ウイルスソフトライセンス・その他必要なソフトライセンス等の費用（年次更新等の費用も含む。）も見積金額に含めること。

機器等の搬入・設置にあたっては、機器の搬入前に本市とスケジュールを協議し承認を得ること。

また、輸送業者による機器等の搬入の際には立ち会い、納品機器及び付属物の確認を行うこと。

機器等の設置、稼働に必要な周辺機器についてもすべて用意すること。

(1) IC タグと新システムの連携について

ア IC タグを活用したシステムを構築すること。

イ IC タグを使用する機器等は、現在島田市立図書館で使用している、規格の IC タグ（ビブリオテック社 SmartLabel110 及び SmartLabel200）に対応しているものであること。

ウ IC タグとバーコードのどちらでも資料等を管理できるシステムとすること。

エ IC タグを活用した業務効率の高いシステム（貸出、返却、資料点検、盗難防止等）を構築すること。

オ 職員による貸出・返却・予約・資料管理業務を、IC 機器によりできる限り簡略化すること。

カ IC タグを使用する機器等については、電波の飛ぶ距離や金属への共鳴、エラー等を充分考慮すると共に、現場での設置調査を実施すること。

キ IC タグによる貸出処理については、データベースの更新処理、リライトカード処理、レシート出力などの貸出終了処理においてタイムラグが発生しないようにシステムを構築すること。

ク 貸出・返却時にメーカーや規格の異なる IC タグを同時処理可能であること。

ケ 金属対応の IC タグリーダーライタを提案できること。

(2) サーバ機器について

- ア 障害対策が十分考慮された信頼性の高いサーバ専用機とすること。
- イ 十分な容量のメモリ容量・磁気ディスク容量として、RAID 構成によりデータの安全性を確保し、システムのレスポンスが業務に支障がなく、快適に稼働する処理能力であること。
- ウ 補助記憶装置（バックアップ装置・バックアップソフト）を備えること。
- エ 自館で管理するサーバは、図書業務用、インターネット蔵書検索用、インターネット予約用、メール用等でセキュリティ及びレスポンスを考慮したものを必要な台数備えること。
- オ 設置場所である島田図書館サーバ室の間取り等を考慮した機器とすること。
- カ 免震措置又は制震措置を講じること。
- キ 18 インチ以上の液晶ディスプレイを備えること。
- ク ファイアーウォール、SSL（通信暗号化）を適用すること。
- ケ インターネットからアクセスされるサーバには、利用者氏名、住所、電話番号、性別、電子メールアドレス等の利用者個人情報は一切保持しないこと。
- コ 第三者の成りすまし（フィッシング等）を防止するため、サーバ証明書の取得等の対策を行うこと。
- サ 予約本が用意できた際に利用者にメールでの通知を行うためのメールソフトを用意すること。
- シ OS は WindowsServer 又は Linux を用いること。
- ス 業務に必要とするシステムソフト・ソフトウェアに、基本業務、OPAC 用、TRC 内容細目・学習件名・人名典拠サブシステム、TOOL-i 連携（TRC 新刊全件ファイル、周辺ファイル等現在使用できているすべての機能について）、おうだんくん連携、IC チップ・タグ・R/W カード対応サブシステム、その他必要なソフトウェアを含めること。
- セ すべての端末に対して、WindowsOS、アドビアクロバットリーダーをはじめ、機能の使用に影響をきたすような重要なソフトのアップデートは確実に行うこと。
- ソ 提案構成に十分対応可能な UPS を備えること。（サーバ機器を安全にシャットダウンさせることができる容量を有すること。）
- タ 1000/100BASE-TX 用 LAN ケーブルに接続できること。
- チ 通信速度 1 Gbps、ポート数 48 以上のセンターハブを用意すること。

(3) 図書館業務用端末について

各端末に周辺機器「バーコードリーダー」・「レシートプリンター」・「リライトリーダーライタ」・「IC タグリーダーライタ」を見積りに含めること。詳細は別紙「図書館基幹システム機器構成表」を参照すること。

バーコードリーダーは、スマートフォンに表示されたバーコードが読めること。

島田図書館

① 3階窓口用端末

内訳：デスクトップ型：2台
ノート型：1台

② 2階窓口用端末

内訳：デスクトップ型：4台
ノート型：1台

③ 事務室業務用端末

内訳：デスクトップ型：4台
ノート型：1台

金谷図書館

① 窓口用端末

内訳：デスクトップ型：2台

② 事務室業務用端末

内訳：デスクトップ型：2台

ノート型：1台※

※ カウンター窓口と事務室内で移動させて使用する。

このため双方に LAN 及び電源の配線を必要とする。

川根図書館

① 窓口用端末

内訳：デスクトップ型：2台

② 事務室業務用端末

内訳：ノート型：1台

島田図書館別館

① 業務用端末

内訳：デスクトップ型：1台

○地域館用端末

各端末に「バーコードリーダー」・「レシートプリンター」・「リライターリーダーライタ」を接続する。

六合公民館 内訳：ノート型：1台

初倉地域総合センター 内訳：デスクトップ型：1台

北部ふれあいセンター 内訳：ノート型：1台

大津農村環境改善センター 内訳：ノート型：1台

※六合公民館のみ IC タグリーダーライタ(金属対応)を接続する。

※初倉西部ふれあいセンターには端末を設置していない。

【重要】

- ・ 障害対策が十分考慮された信頼性の高い端末機器とすること。
- ・ 業務システムのレスポンスが十分考慮された処理能力であること。
- ・ 端末機器スペック

《デスクトップ型パソコン》

CPU：提案する新システムが必要とするスペックを用意すること。

メモリ：16GB 以上

SSD：暗号化機能付き 250GB 以上

記憶装置：DVD スーパーマルチドライブ内蔵

液晶ディスプレイ：21.5 インチワイド液晶以上

LAN：1000/100BASE-TX

OS：Windows11 Pro

その他：Microsoft365 Apps (Education Faculty Pricing)

USB キーボード、USB レーザーマウス添付

業務に必要なとするシステムソフト・ソフトウェア

機器・端末等に必要な接続用ケーブル類

《ノート型パソコン》

CPU：提案する新システムが必要とするスペックを用意すること。

メモリ：16GB 以上

ハードディスク：暗号化機能付き 250GB 以上

補助記憶装置：DVD スーパーマルチドライブ内蔵

液晶ディスプレイ：15.6 型ワイド液晶以上のディスプレイ以上

LAN：1000/100BASE-TX

OS：Windows11 Pro

その他：Microsoft365 Apps (Education Faculty Pricing)

テンキー付キーボード・USB レーザーマウス添付・リチウムイオン バッテリ

業務に必要なシステムソフト・ソフトウェア

機器・端末等に必要な接続用ケーブル類

Microsoft365 Apps (Education Faculty Pricing)を使用する職員は 50 名とする。

(4) OPAC 端末について

各端末に「レシートプリンター」を接続する。

ウイルス対策ソフト（ウイルスバスター等）、情報漏洩防止ソフト（インフォバリア等）をインストールすること。

島田図書館

① 3 階用 OPAC

内訳：タッチパネル型：2 台

② 2 階用 OPAC

内訳：タッチパネル型：3 台

キーボード型：1 台

金谷図書館

① 館内 OPAC

内訳：タッチパネル型：1 台

キーボード型：1 台

川根図書館

① 館内 OPAC

内訳：タッチパネル型：1 台

【重要】

- ・障害対策が十分考慮された信頼性の高い端末機器とすること。
- ・業務システムのレスポンスが十分考慮された処理能力であること。
- ・端末機器スペック

《デスクトップ型パソコン》

CPU：提案する新システムが必要とするスペックを用意すること。

メモリ：16GB 以上

SSD：暗号化機能付き 250GB 以上
記憶装置：DVD-ROM ドライブ内蔵
ディスプレイ：17 型液晶以上
LAN：1000/100BASE-TX
OS：Windows11 Pro
その他：USB キーボード、USB レーザーマウス添付
業務に必要とするシステムソフト・ソフトウェア
機器・端末等に必要な接続用ケーブル類

- (5) 利用者用インターネット閲覧端末について
ウイルス対策ソフト（ウイルスバスター等）、システムリカバリソフト（ウインキーパー等）、
情報漏洩防止ソフト（インフォバリア等）をインストールすること。

島田図書館

内訳：デスクトップ型：3 台

【端末機器スペック】

CPU：提案する新システムが必要とするスペックを用意すること。
メモリ：8GB 以上
ハードディスク：暗号化機能付き 250GB 以上
記憶装置：DVD-ROM ドライブ内蔵
液晶ディスプレイ：21.5 インチ液晶以上
LAN：1000/100BASE-TX
OS：Windows11 Pro
その他：USB キーボード、USB レーザーマウス添付
いたずら防止用等の必要なソフトウェアとソフトウェアのインストール
機器・端末等に必要な接続用ケーブル類

- (6) 蔵書点検用・停電時等の非常時貸出用端末について
蔵書点検作業を考慮し、軽量で持ち運びやすいスキャナー一体型のハンディーターミナルであること。

島田図書館

内訳：蔵書点検用端末 : 15 台

金谷図書館

内訳：蔵書点検用端末 : 7 台

川根図書館

内訳：蔵書点検用端末 : 4 台

- (7) プリンターについて
《レーザープリンター》
- ・給紙カセットが 2 段以上あり、A4 と A3 の用紙がセットできる、手差しトレイからも印刷できること。
 - ・両面印刷ができること。
 - ・A3 サイズまで対応できること。
 - ・ネットワーク接続とする。

《インクジェットカラープリンター》

- ・A3用紙がセットでき、A3資料のスキャナー機能を備えたものとする。

島田図書館

- ① 3階カウンター内プリンター
内訳：レーザープリンター : 1台
- ② 2階カウンター内プリンター
内訳：レーザープリンター : 1台
インクジェットプリンター : 1台
- ③ 図書館事務室業務用プリンター
内訳：レーザープリンター : 1台

金谷図書館

- ① 窓口用プリンター
内訳：レーザープリンター : 1台
- ② 図書館事務室業務用プリンター
内訳：レーザープリンター : 1台
インクジェットプリンター : 1台

川根図書館

- ① 窓口用プリンター
内訳：レーザープリンター : 1台
- ② 図書館事務室業務用プリンター
内訳：レーザープリンター : 1台
インクジェットプリンター : 1台

島田図書館別館

- ① 窓口用プリンター
内訳：レーザープリンター : 1台

(8) 自動貸出機

島田図書館2階に設置する1台はバーコード読み取りによる貸出を行えるものとする。なお、バーコードはスマートフォンの画面に表示したバーコードも読み取れるものとする。また、バーコードで貸出をした際は、貸出票（レシート）が出力できるようにすること。その他の端末は「リライトリーダーライタ」による貸出を行えるものとする。図書館カードへの印字レイアウトは業務用端末と統一すること。

島田図書館

- 自動貸出機本体 : 3台（バーコード1台、リライト2台）
- 自動貸出機制御用ノート型端末 : 1台

(9) BDS ゲート

BDSゲートは島田図書館に2台、金谷図書館に1台設置している。このうち金谷図書館1台は既設のものを継続使用するが、監視用端末は更新する。

なお、島田図書館2台のBDSゲート及び監視用端末は更新する。

BDSゲートとICタグによる資料等の盗難防止や貸出確認が行えるようにすること。

また、市外図書館から持ち込まれた資料に BDS が不正持ち出しとして反応しないようにすること。

島田図書館

① 3階出入口

BDS ゲート : 1台
BDS 監視用 ノート型端末 : 1台

② 2階出入口

BDS ゲート : 1台
BDS 監視用 ノート型端末 : 1台

金谷図書館

① 1階出入口

BDS ゲート : 1台(既設継続使用)
BDS 監視用 ノート型端末 : 1台

9 各業務の機能

システム機能は図書館の業務全般を網羅する総合なものとする。

詳細は別紙「島田市立図書館基幹システム更新業務プロポーザル 要求機能に対する回答書」「バーコード仕様書」「ネットワーク仕様書」を参照すること。

10 図書館ホームページ

- (1) 現行の蔵書検索システムは、現システムと島田図書館内のサーバに構築されているため、今回の更新に合わせての移行とリニューアルを行うこと。また、図書館ホームページをリニューアルすること。
- (2) リニューアルする図書館ホームページから、リンク等により蔵書検索システムを公開できるようにすること。
- (3) 移行やリニューアルに必要な事項はその都度、本市と別途協議すること。

11 システムネットワーク回線について

- (1) プロバイダ : OCN
- (2) VPN (NTT)

島田図書館インターネット接続回線 : フレッツ光ネクスト準

島田図書館、島田図書館別館、金谷図書館、初倉地域総合センター、六合公民館、大津農村環境改善センターの拠点間接続回線 : フレッツ光ネクストハイスピードタイプ

川根図書館、北部ふれあいセンター : ADSL (令和7年度に切り替え予定)

- (3) (2)に示すVPNについて令和7年度に見直す(全拠点光化) 予定であり、見直しによって図書館システムに軽微な設定の変更が生じた場合、無償で対応すること。

12 その他の条件

- (1) プライバシー保護及びデータ保護体制について

島田市個人情報保護条例及び島田市セキュリティポリシーに則った対策をとること。

特に、サーバが外部からのハッキング等により侵入・破壊されないようなシステム構成とすること。

- (2) 操作説明・教育研修・稼働立会い

新システム稼働前には、各図書館・地域館の、職員・会計年度任用職員に対し十分な教育を実施し、試行期間開始から円滑に運用できる期間までの立会い費用も含めること。

- (3) 操作マニュアルのほか、運用マニュアルを整備する費用も含めること。また、各種エラーについてその対処方法を明記した資料を用意すること。ケースフローやその対処方法について明記すること。
- (4) サーバ及び端末にインストールした CD-ROM は整理して保管すること。
- (5) 機器等の導入時に発生する空箱等の処分費用を含めること。
- (6) データ移行のために必要となる、データベースからのデータの抽出費用についても、今回の見積書に含めること。
- (7) 管理ナンバー等を記載したシール・ラベル類を機器等に貼り付ける等して個別の機器の設置状況を管理できるようにすること。
- (8) 契約期間満了時に新システムの機器等をリース業者へ返却する費用（データ消去、データ消去証明書発行、機器等の設置の取り外し、リース業者への運搬を含める。）を見積金額に含めること。
- (9) 構築したシステムネットワーク設計書を提出すること。また、構築後に変更があった場合には、その都度修正を施した最新の設計書を提出すること。
- (10) 機器等は、環境（省エネ法、PC グリーンラベル、エコマーク、J-Moss グリーンマーク、RoHS 指令等）や維持管理に配慮した製品を使用すること。
- (11) 図書館業務用端末及び利用者用インターネット閲覧端末の一部については、現在利用契約しているデータベースである静岡新聞データベース plus 日経テレコン及び第一法規 D1-Law.com を利用する。（各データベースの利用契約は本市がデータベース提供元と別途契約する。）
- (12) 既設設備と新システムとの連携について、既設設備の納入元への確認が必要な場合は、受注者が納品元へ依頼を行うこと。
- (13) 本業務の実施に際し、本仕様書との不一致又は不備が発見された場合は、無償で是正措置を行うこととする。
- (14) 本仕様書に定めのない事項又は疑義が生じた場合は、速やかに本市と協議すること。